

CEATEC JAPAN 2017

HATS PLAZA

参加募集案内

2017/5/19

高度通信システム相互接続推進会議

(HATS推進会議)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年10月3日から6日の4日間開催されるCEATEC JAPAN 2017(シーテック ジャパン2017)は新たな産業革命と言えるデータ駆動型、また情報活用型社会到来に向けた収集・分析・テクノロジーを一堂に会し、参加者へのビジネスの創出と技術、情報交流、社会的課題の解決策の提案を行い、一層の発展と生活の向上及び社会貢献を促すことを開催主旨としています。

本年のCEATEC JAPANは、CPS(Cyber Physical System)/IoT(Internet of Things)Exhibitionとして既存の組織や業種の枠を超えて産業を横断する「つながり」を生み、さらには、社会システム、産業構造を一変させるCEATEC発の市場創出を目指しています。

HATS推進会議では、ICT活用の最前線で様変わりしてゆくHATSの取組み、先進の基盤技術・相互接続性やシステム/ソフト/サービスについても積極的にプレゼンテーションしたいと考えております。

さらにビジネス機会の創出に向け、BtoB、BtoB/toCを前提とした企業ユーザ(来場者)へのアプローチを図るために、相互接続関連製品等をより多くの来場者に「接して」「触れて」いただくためのデモンストレーションや体験型の展示も積極的に展開し、ビジネスチャンスを創造して参ります。

是非、本企画主旨にご賛同いただき、ご出展いただけますようお願いいたします。

敬具

CEATEC JAPAN 2017 開催概要

- 名称 CEATEC JAPAN 2017 （シーテック ジャパン 2017）
 （Combined Exhibition of Advanced Technologies）
- 開催趣旨 新たな産業革命と言えるデータ駆動型、また情報活用型社会到来に向けたモノ・サービス・テクノロジーを一堂に会し、新たなビジネスの創出と先進的技術および情報の交流、社会的課題の解決策の提案を行い、一層の産業の発展と生活の向上および社会への貢献を促す。
- 会期 2017年10月3日（火）～6日（金） 4日間 10：00～17：00
- 会場 幕張メッセ （千葉市美浜区中瀬2-1）
- 入場 全来場者登録入場制
 ○当日登録：入場料 一般1,000円
 学生 500円（学生20名以上の団体および小学生以下は入場無料）
 ○Web事前登録者・招待券持参による当日登録者：入場無料
- 主催 CEATEC JAPAN 実施協議会
 一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）
 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）
 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

《出展テーマ》

つながる安心 かがやく未来

HATSは情報通信機器の接続性向上に取り組み、皆様に安心をお届けします。

HATSは各メーカーの情報通信機器の相互接続試験を実際に行うことで、利用者がいつでもどこでも、安心して製品を利用し、自由にシステムを構築できるようにしています。

今回のCEATECの出展では、CPS (Cyber Physical System) / I o T (Internet of Things)、産業展、ビジネス創出を意識し、情報通信分野に関わる業界関係者、ユーザへの情報提供を図ります。



情報通信端末の相互接続試験の成果発表をはじめ、HATSの意義と活動概要を分かりやすく紹介します。

HATSの概要や活動内容など
メインステージでの
プレゼンテーションの実施

実際に相互接続が
デモ体験できる
機器紹介・展示コーナー

各分野の取組みや技術解説、
参加メンバー企業の個別
アプローチができるコーナー

出展参加メリット

HATS PLAZAへの参加メリット

- 1 アジア最大の情報発信・交流の場として **14.5万人の来場がある展示会**
- 2 メディア注目率も高く **PR効果大 展示会の記事件数300件以上**
- 3 主催団体として、好立地かつ大規模ブースによる **集客率の高い出展ブース**
- 4 グループ出展のため、個別出展に比べ **出展費などの負担が少ない**



CEATEC運営事務局

CEATEC運営事務局では、主に下記の来場者誘致を行います。

■ビジネスユーザー：ビジネス創出につながるプロフェッショナルの集結

- ◎データベース活用によるアプローチ
- ◎グローバル・アジアパートナーを通じた、海外来場者の誘致
- ◎主催者企画（特別企画展・コンファレンス）による来場誘致と最新トレンドの配信
- ◎ソーシャルネットワークサービス（SNS）を活用したユーザーとの積極的コミュニケーションの実施
- ◎約390万ビューを誇る公式Websiteによる情報配信

■メディア：メディア連動による国内外への情報発信

- ◎専門紙誌、Web媒体等との連動とメディアパートナーを通じた情報発信
- ◎国内外の各種媒体への積極的な情報配信と、国内外のメディアの誘致

来場者数/VIP来場結果（2016年実績）

■CEATEC JAPAN 2016 総来場者数 145,180名

(名)

		10/4	10/5	10/6	10/7	合計
		火	水	木	金	
来場者数	来場者	24,981	27,807	33,690	37,682	124,160
	プレス	958	216	198	201	1,573
	出展者	5,553	4,843	4,586	4,465	19,447
合計		31,492	32,866	38,474	42,348	145,180
※昨年の来場者数		31,613	32,814	42,106	26,515	133,048

■ご来場のVIP

《10月4日(火)》

* 富永 昌彦 氏
* 巻口 英司 氏
* 佐藤 栄一 氏
* 藤田 美来 氏
* 吉岡 てつを 氏
* 今林 顯一 氏
* 渋谷 闘志彦 氏
* 山本 正巳 氏

総務省 総合通信基盤局長
総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部長
総務省 総合通信基盤局 総務課長補佐
総務省 総合通信基盤局 総務課 調査係長
総務省 情報流通行政局 官房審議官
総務省 政策統括官
総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 企画官
CIAJ 会長(富士通(株) 代表取締役会長)

《10月5日(水)》

* 齊藤 忠夫 氏

HATS推進会議 議長(東京大学名誉教授)

《10月6日(木)》

* 中西 悦子 氏
* 前田 和太郎 氏
* 谷脇 康彦 氏
* 南 俊行 氏
* 吉田 真人 氏
* 鈴木 信也 氏
* 久恒 達宏 氏
* 藤田 清太郎 氏
* 玉田 康人 氏

総務省 情報通信国際戦略局 通信規格課長
総務省 情報通信国際戦略局 通信規格課
総務省 情報通信国際戦略局長
総務省 情報流通行政局長
総務省 情報流通行政局 官房審議官
総務省 情報流通行政局 放送政策課長
総務省 情報流通行政局 放送技術課長
総務省 情報流通行政局 地上放送課長
総務省 情報流通行政局 衛星・地域放送課長

《10月7日(金)》

* 瀬戸 隆一 氏
* 福岡 徹 氏

衆議院議員
総務省 総務審議官

■ご来場の主な様子



総務省 富永 昌彦 氏
" 巻口 英司 氏
" 佐藤 栄一 氏
" 藤田 美来 氏
" 吉岡 てつを 氏
" 今林 顯一 氏
" 渋谷 闘志彦 氏
CIAJ 山本 正巳 氏



総務省 南 俊行 氏
" 吉田 真人 氏
" 鈴木 信也 氏
" 久恒 達宏 氏
" 藤田 清太郎 氏
" 玉田 康人 氏



総務省 中西 悦子 氏
" 前田 和太郎 氏



総務省 福岡 徹 氏

HATS PLAZA 展示構成

参加企業の技術・製品を用いた最新のビジネススタイルを展示や体験デモを通じて紹介。
また課題解決へ向けた新たなワークスタイルも提案し、参加企業のプレゼンスを高めます。

接続試験紹介コーナー

相互接続性を体感できる実機展示やパネルによる活動紹介

各社製品を展示しての相互接続デモ形態による製品紹介や個別アプローチによる展示も可能です。

光アクセスシステム

AV通信機器（HDTV会議）

IP-PBX

FAX

ホームネットワーク

IPカメラ

その他、展示・デモ・プレゼンテーションなどの環境を用意しています。

メインステージ

HATSの相互接続の意義・重要性、各技術分野について、分かりやすく解説し、より多くの来場者への理解促進に努めます。

[昨年までのプレゼンテーション例]

- *HATSの役割と意義
- *PBX連携、プレゼンス機能
- *HDTV会議による多地点会議
- *FAX、クラウド連携
- *IPカメラ、遠隔制御 など

TTCコーナー

一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）による最新標準化動向の紹介

- *標準化の役割
- *コネクテッドカー、ヘルスケア等ホットトピックの紹介
- *5Gモバイルネットワークキング、IoT/M2Mへの取組
- *IoTイノベーション推進に向けた取組
- *TTC入会の案内

その他の出展

相互接続に付随した各社独自の機能や関連製品の説明パネル、製品カタログによる製品紹介が可能です。

[昨年までの展示例]

- *NGN対応製品の展示
- *各種業務・業種向けシステム連携などのソリューション提案
- *モバイル端末の展示
- *マルチメディア/リッチコンテンツ対応製品
- *IPTeleフォニー関連製品
- *セキュア関連製品 ほか

パネルコーナー

説明パネル、製品カタログなどによる製品紹介が可能です。

インフォメーション

運営スタッフを配置し、HATSパンフレットの配布、ブース案内などを行います。

展示概要①

概要：相互接続をアピールする接続試験紹介コーナーの詳細

光アクセスシステム

F T T H（Fiber to the home）による光ブロードバンドサービスを支える光アクセスシステムとして、複数のユーザで光帯域をシェアするE P O N（EthernetベースのP O N（Passive Optical Network））が広く普及しています。光アクセス相互接続試験実施連絡会では、最大1 0 Gbpsの帯域を複数のユーザでシェアする1 0 G-E P O N装置について、相互接続試験における現状の課題の把握と、関連する標準化に役立てるため、これまでに5回の相互接続試験を実施してまいりました。

また最近ではNW仮想化技術を用いて光アクセス装置の汎用化が進み、光アクセスシステムにおける相互接続性の確保がますます重要になることが考えられます。これを踏まえ、今年度も、引き続き光アクセスシステムの相互接続試験に係わる活動を通じて、さらなる相互接続性の向上を目指すと共に、光アクセスシステムによる魅力あるブロードバンドソリューションを提示していきます。

H A T S P L A Z Aでは、その成果として、各社の最新装置やコンセプトを展示し、出展各社が来場者に広くアピールできる場を提供します。

A V通信機器（H D T V会議）

マルチメディア通信機器の主要なアプリケーションの一つに、オーディオ・ビジュアルのリアルタイム通信サービスがあります。

A V通信機器WGとH D T V会議SWGではV o I P（Voice over IP）サービスやH D T V会議/H D T V電話サービスに関連したオーディオ・ビジュアル通信機器を対象に、相互接続試験を実施しています。

H A T S P L A Z Aでは、各社の最新のオーディオ・ビジュアル通信ソリューションのデモ展示により、来場者にその臨場感の高さを広くアピールできる場を提供します。

I P-P B X

企業にとって肥大化する通信コストの削減が大きな命題となっており、その解決策として音声情報をパケット化しI Pネットワークに流すV o I P技術の活用が広がっています。

本年度は、V o I P通信の制御プロトコルとして、S I P専用線を介した相互接続試験を予定しています。

H A T S P L A Z Aでは、検証試験の結果を踏まえ、音声通信・発信番号表示などの基本機能に加え、付加サービスも可能であることを動態展示によってアピールする場を提供します。

展示概要②

FAX

画像通信の方法はインターネットの普及とブロードバンドの進化により多様化していますが、FAX（ファクシミリ）は簡単に安心してつながる通信機器として、まだまだ活用されています。

HATS PLAZAでは、FAXの基本機能に加えて、省エネ、セキュリティ、クラウドなどをキーワードとした各社の特長ある製品をアピールできるように、機器展示・デモおよびカタログ出展の場を提供します。

ホームネットワーク

情報通信技術の急速な発展に伴い、ホームネットワークの利用を前提とした様々な一般家庭向け端末が、販売されています。利用者がこれらの端末を安心して購入し、接続・利用できるようにするためには、ネットワークや端末の相互接続性の確保が重要となります。

このためHATS推進会議では、ホームネットワークに係る端末やネットワークの相互接続性の検証を「ホームネットワーク接続WG」で実施しています。具体的には、これまでにNAT (Network Address Translation) 越えの一方式である、UPnP規格のIGD (Internet Gateway Device) 仕様の相互接続試験やTTC JJ-300.11に基づいた、レイヤー3/レイヤー4の相互接続性としてG3-PLC関係の相互接続を実施しました。

HATS PLAZAでは、これら試験内容に関するデモや各社の最新機器を展示する場を提供します。

IPカメラ

主に監視目的で使用されるIPカメラは、各社独自のコントロールプロトコルでシステム化が進められマーケットに導入されてきました。

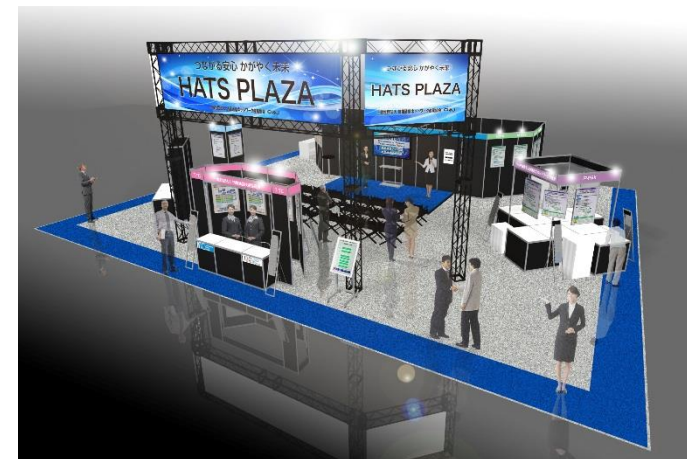
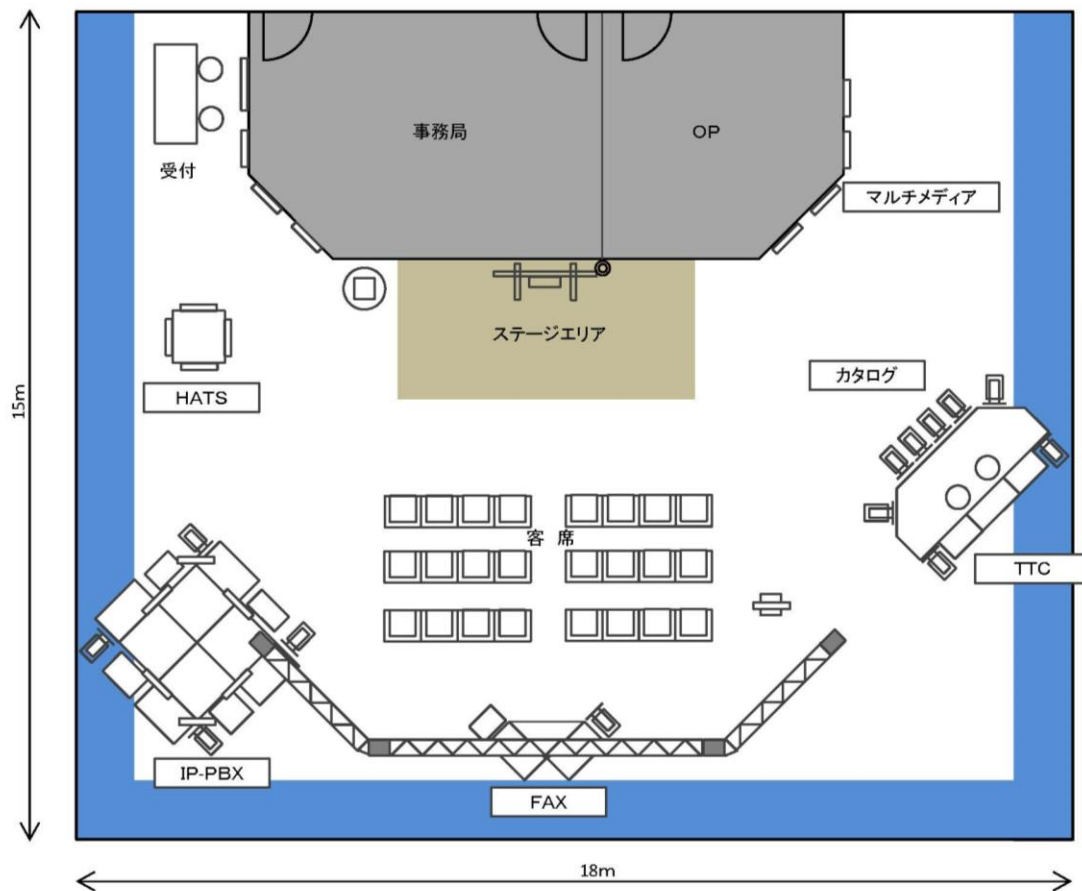
これに対し、システム構築の利便性や機材採用の自由度の向上を目指して、2008年にONVIFという団体がAXIS、Bosch、ソニーの3社によって設立され、このプロトコルの統一が進められてきております。

HATS IPカメラ接続WGでは、2009年度より、ONVIFが策定した仕様をもとに開発された製品の相互接続性の確認を行い、あわせて仕様の問題点の洗い出しや追加されるべき機能の提案などを日本発として行うことを目的に活動しています。

HATS PLAZAでは、IPカメラ接続WGの活動の紹介と、接続試験の成果として、各社の最新機器のデモ展示をすることにより、出展各社のシステム提案を行う場を提供します。

ブース装飾案

■ゾーニング案



装飾イメージ

参加概要一覧

■HATS推進会議

	出展料（税別）	備考
■展示コーナー		
光アクセスシステム	60万円から 70万円	・展示ブース（以下の物が含まれています。） 展示台、照明器具、コンセント、カタログスタンド1台、 説明パネル〔A1縦サイズ〕1枚＋製品カタログ 2種類、ネットワーク費用 ・CEATEC JAPANホームページ出展者紹介ページ・案内状 ※基本的には、開催までのHATSデモンストレーション実行委員会に参加して 頂きます。
AV通信機器（HDTV会議）		
IP-PBX		
FAX		
ホームネットワーク		
IPカメラ		
■パネルコーナー	20万円	説明パネル〔A1縦サイズ〕1枚＋製品カタログ 2種類 ・CEATEC JAPANホームページ出展者紹介ページ・案内状

■その他の出展

出展料（税別）・・・単独出展は60万円 上記展示コーナーに参加された企業は金額としてプラス30万円位の費用を予定しております。
・基本装飾（展示台、照明器具・コンセント、説明パネル〔A1縦サイズ〕1枚＋製品カタログ1種類、ネットワーク費用） ・CEATEC JAPANホームページ出展者紹介ページ・案内状

★注意：応募状況により、HATS PLAZAの出展内容を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

出展などのお問い合わせ

一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会

〒105-0013

東京都港区浜松町2丁目2番12号(JEI浜松町ビル3階)

電話:03-5403-9354 FAX:03-5403-9360

《担当》マルチメディアソリューション部 笹野 潤、小形 裕子

E-mail 笹野:j-sasano@ciaj.or.jp

小形:ogata@ciaj.or.jp